

市議会だより

平成29年
第4回定例会
第259号

平成30年(2018年)
2月20日発行

発行／小金井市議会

〒184-8504 小金井市本町六丁目6番3号

編集／広報協議会

TEL (042) 387-9947(直通) FAX (042) 387-1225

小金井市議会ホームページアドレス

http://www.city.koganei.lg.jp/

shisei/gikaijimukyoku/



武蔵小金井駅南口で開催された
小金井市消防団出初式(1月14日開催)

市歌の制定を含む 一般会計補正予算を可決

第4回定例会の概要

平成29年第4回定例会(五十嵐京子議長)は、12月1日に開会し、12月22日に閉会しました。

一般会計補正予算(第5回)を可決

本補正予算は、一般会計予算を11億2千675万8千円増額し、補正後の歳入歳出予算総額を42億4千250万3千円とするものです。(審議の経過は2面に掲載しています。)

▼保育士等キャリアアップ補助金(1億3万8千円)

東京都の補助金を活用し、認可保育園及び認可外保育施設に勤務する保育従事者の賃金を改善し、保育士等の確保・定着を図り、保育サービスの質の向上を目的とするものです。

▼市歌の制定に向けた経費

市制施行60周年記念事業として、市歌を制定することに伴い、選定委員会の委員謝礼、会議録の作成等の経費(29万5千円)を計上するとともに、債務負担行為として、作詩、作曲等のプロモートを委託する経費の設定を行うものです。なお、予算特別委員会での審査を踏まえ、12月22日の本会議では、議員から本経費の削除を含む組替え動議が提出されましたが、否決しました。

福祉会館跡地 地上権設定契約の 合意解除に係る 和解についてを可決

本案は、福祉会館の解体、除却を契機に、土地所有者及び市において地上権設定契約の合意を解除する協議が整ったため、提案するものです。

本案は、12月8日の本会議において総務企画委員会(小林正樹委員長)に付託し、12月13日の委員会で審査を行い、可決すべきものと決定しましたが、12月20日の委員会で、本案に対して、清算金の適切な価値の検証を求めため、再審査を求め動議が提出され、否決しました。12月22日の本会議では、委員会での審査が不十分であると、再付託を求め動議が提出されましたが否決し、本案については起立採決の結果、起立多数により、可決しました。また、本案に関連する決議(詳細は8面に掲載)を提案し、起立採決の結果、起立多数により、可決しました。

議会報告会の 開催報告書を 公開しています

10月22日に開催した議会報告会の開催報告書を市議会ホームページ(左記QRコード)に公開しております。
当日、参加された市民等の方々にご回答いただいたアンケート結果を設問ごとに集計したほか、自由記述の内容をまとめました。今後の運営等に活用させていただきます。
アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。



平成29年第4回 定例会日誌

- 〔12月〕
- 1日 本会議(議案の審議・委員会付託、陳情の採決)
- 5日 本会議(一般質問)
- 6日 本会議(一般質問)
- 7日 本会議(一般質問)
- 8日 本会議(一般質問、議員提出議案の審議・採決、陳情の委員会付託)
- 11日 厚生文教委員会
- 12日 建設環境委員会
- 13日 総務企画委員会
- 14日 予算特別委員会
- 15日 議会運営委員会
- 18日 庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会
- 19日 行政改革推進調査特別委員会
- 20日 総務企画委員会
予算特別委員会
- 22日 本会議(委員会付託案件の採決、議長報告、議員提出議案の審議・採決、陳情の委員会付託)

日曜議会を開催します

平日に傍聴へ来られない方にも議会の様子を知っていただくため、日曜議会を開催します。当日は、各議員が市長の施政方針に対する質疑を行いますので、ぜひ、お越しください。

日時 2月25日(日)

午前10時から

場所 議場(市役所本庁舎4階)
その他 手話通訳を行います。

市議会の本会議・委員会等の様子をYouTubeで配信しています。
<https://www.youtube.com/user/koganeishigikai>



審議した主な議案

平成29年度一般会計 補正予算(第5回)

本件は、12月1日の本会議において予算特別委員会(渡辺ふき子委員長)に付託し、12月14日、20日の計2回にわたり審査を行いました。12月20日の委員会では、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

12月22日の本会議では、組替え動議が提出され、否決した後、原案について採決を行い、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

【反対討論(要旨)】

たゆ久貴(日本共産党)

市歌作成にかかる40万円は高いと考える。議論が不十分なまま進められており、専門家に頼むのではなく市民公募にするなど費用削減を検討すべき。学校給食調理の業務委託に反対する。財政効果がないことや調理体制の不安定さなどの問題があり、直営で行うべき。市は受益者負担や民間委託など市民生活を犠牲にする一方で、市歌や不要不急の大型開発にはちゅうちよなくお金を出すという姿勢を改めるべき。お金の使い方を市民生活第一にするよう求める。

【賛成討論(要旨)】

岸田正義(市議会民進党)

市制施行60周年を機に市歌を制定し、市民が抱く小金井市への親近感や愛着を高め、ふるさと小金井に対する郷土愛を深めることはシティブロモーションにつながる重要な取組である。その対象はマーケティングで測

れるものではなく、今後生まれる命も含めた全ての市民であり、全てはこれから始まることである。重要なことはその可能性を否定するのではなく、市民1人が観光大使となつて、様々な場面で発信してもらえらる市歌を共に考えて作ることである。

【賛成討論(要旨)】

田頭祐子(生活者ネット)

市歌制定支援委託料40万2千円の予算のうち、音源制作料1式261万円は、ヴォーカル譜、男女混声譜、女性または同声譜及び吹奏楽譜の4種の作曲料が含まれている。果たして初めから4種の作曲が必要であるかは大いに疑問。基本的な旋律で十分アレンジし、楽しめる。募集される選定委員会の意見によっては、この予算の減額もあり得るとの答弁を前向きに評価する。選定委員会には、幅広い年代の市民や市内で活動する音楽関係者などが含まれる配慮が必要。

【賛成討論(要旨)】

沖浦あつし(こがあす)

保育士等キャリアアップ補助金の更なる活用は、保育士等の賃金の改善とともに、待機児童解消に向けた本質的な対策の1つであり、スピード感のある対応を評価。市歌作成について、定着まで時間を要するが、ふるさと納税等で、市を離れた方にとつても地元への愛着を表すことができる時代だからこそ、ラニンングコストのかからないこの周年事業を評価。市民参加で全ての世代に親しまれるものを作り、市民によって広まる環境を作ることを要望し、賛成する。

福祉会館跡地の地上権 設定契約の合意解除 に係る和解について

本議案の概要は1面に掲載しています。

【反対討論(要旨)】

渡辺大三(情報公開)

1 宗教法人との和解は一者随意契約的な取引という本質を覆い隠すもの。2 売却した場合の価格等の市場調査が、不動産会社等を対象に行われていない。市長は市場調査を拒否している。3 3億8千万円とも試算される地上権なのに、和解額は1億6千万円で、2億2千万円もの開きがある。市長はなぜそうなるのかの調査を拒否している。宗教法人に利益が発生した場合、憲法第89条への抵触も懸念される。4 本件に関しては、監査請求書を提出している。

【賛成討論(要旨)】

湯沢綾子(自民党・信頼)

不動産の処分にあたっては複数の鑑定を行うのが通常であるが、本件で市は不動産鑑定を実施せずに価格を決定しようとし、議会から指摘を受けて一旦議案を撤回することとなった。市民への説明責任が果たされないことから厳しく指摘せざるを得ない。最終的には、2者鑑定の上、地上権価格審査会を開いて手続を満たしており、更地となった後も地代が発生するリスクや、今以上の混乱で貸主に更なる迷惑をお掛けしないこと等を考慮し、議案自体には賛成する。

【賛成討論(要旨)】

森戸洋子(日本共産党)

地上権設定契約の合意解除の和解について、貸主との売買で不動産鑑定評価や価格審査会に

かけなかったことは、透明性に欠けていた。貸主に迷惑を掛ける結果となり、西岡市長の責任は二重に重大であった。今回賛成するのは、こうした問題点がありつつも、市が議会の指摘を受け、2者による不動産鑑定評価と新たに地上権価格審査会を設置し、市としての独自の価格をもつて、貸主との間で再交渉したことからである。

【賛成討論(要旨)】

鈴木成夫(市議会民進党)

市は、地上権は地方自治法上の財産で、相手方から対価なく契約解除できないと主張し、跡地の地代を支払わない強い意志で交渉した成果であり、議会の意見に耳を傾け、2者の不動産鑑定を行い、価格審査会にも諮り算出された適正価格で交渉に当たってきた。和解不成立の場合、再交渉の確証はなく、確実に得られる1億6千万円を得られず、約9千万円の地代支払い債務が残り、市民に多大な不利益を強いてしまう。今回の判断は妥当で、最善の措置である。

【賛成討論(要旨)】

白井亨(こがおも)

前定例会で上程を見送った後、市議会からの指摘等を踏まえ、市として2者による不動産鑑定を実施し、金額を設定した。採決態度は悩んだ。本来であれば地上権設定の合意解除ありきではなく、売却の可能性も追求した上で、市として最良の結論を出すべきだが、市長の判断で事務を進め、ここまで来てしまった。この段においては、機会損失により市民に不利益を生じさせる可能性もあるため、現在示されている条件下で、その金額の妥当性を判断し、賛成する。

(仮称)新福祉会館機能に係る 議員間討議を開催

平成29年第3回定例会において、「市民サービスの充実に向け、(仮称)新福祉会館の床面積の弾力的見直しを求める決議」を可決しましたが、11月6日開催の庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会での部局の答弁から、本決議を踏まえた対応については検討を行っていないことが明らかになりました。

こうした状況を踏まえ、(仮称)新福祉会館に導入すべき機能について、市議会としての意見を示すため、12月20日に議員間討議を開催しました。

当日は、おおむね全議員の3分の2に当たる16人以上の賛成が得られた次の5つの項目について、集約した意見を市長へ送付するとともに、12月22日の本会議で議長報告を行いました。

- 福祉総合相談窓口
- 小金井悠友クラブ連合会事務局
- 地域の高齢者サークル等の居場所
- シルバー人材センター
- 福祉共同作業所



熱のこもった議論が交わされた議員間討議

声の議会だよりを ホームページで お聴きいただけます

前号から、市議会だよりの音訳版「声の議会だより」の市議会ホームページでの配信を開始しました。パソコンやスマートフォン等からお聴きいただけますので、ご家族やお知り合いに視覚に障がいのある方がいましたら、ご利用をお勧めください。

スマートフォン等用アプリ「マチイロ」で配信

市議会だよりをより多くの方にお届けするため、スマートフォン等用アプリ「マチイロ」での配信を行っています。左記のQRコードを読み取るか、お手持ちのスマートフォン等で、「マチイロ」と検索し、アプリをダウンロードして、ご利用ください。



全員協議会を 開催しました

【2月6日】
▼(仮称)小金井市新福祉会館建設基本計画(案)について

閉会中の委員会日程及び審査案件

建設環境委員会

1月22日(月)午前10時
▶駅周辺整備に関する調査 ▶市内都市計画及び住環境に関する調査 ▶資源循環社会形成に関する調査

行財政改革推進調査特別委員会

1月26日(金)午前10時
▶行財政改革の推進に係る諸問題の調査

議会運営委員会

1月30日(火)午後1時、2月16日(金)午後2時
▶議会改革に関する諸問題の調査 ▶①次期定例会(臨時会を含む。)の会期及び会議日割等、議会運営に関する調査、②議会の会議規則、委員会条例等に関する調査、③議会運営に関する議長の諮問事項について

厚生文教委員会

2月2日(金)午前10時
▶(公財)小金井市体育協会への補助金交付の一時停止を求める陳情書 ▶公益財団法人小金井市体育協会への補助金の一部返還に関する陳情書 ▶大腸

がん検診の充実を求める陳情書 ▶国に対して「待機児童解消、保育士等の処遇改善のための財源確保を求める意見書」の提出を求める陳情書 ▶文化遺産とおぼしき物の処理に関する陳情書 ▶子ども施策に関する諸問題の調査 ▶小金井市保健福祉総合計画の策定と運用について

庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員会

2月6日(火)全員協議会終了後
▶新市庁舎の床面積縮減等による建築コスト削減等を求める陳情書 ▶市庁舎の建設面積を縮減することにより、図書館本館の建設を進めることを求める陳情書 ▶公民館本館を新福祉会館と併設する旨の議会意思の確定を求める陳情書 ▶庁舎及び福祉会館建設等に係る諸問題の調査

総務企画委員会

2月15日(木)午前10時
▶東京都に、第32回オリンピック2020東京の開会式に競技施設等の工事従事者の入場行進を求める等の意見書提出を求める陳情書 ▶東小金井駅北口まちづくり事業用地整備活用計画に関する陳情書 ▶小金井市歌を手作りで作成する事を求める陳情書

各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。

議案の審議結果		【会派略称】													議決結果									
		公：小金井市議会公明党			自：自由民主党・信頼の小金井			共：日本共産党小金井市議団			緑：緑・市民自治こがねい			情：情報公開こがねい										
		お：小金井をおもしろくする会			民：小金井市議会民進党			会：こがねい市民会議			明：小金井の明日をつくる会			改：改革連合			ネ：生活者ネットワーク							
付託先略称		○：賛成 ×：反対 △：退席 議：議長（原則、採決には加わらず）													議決結果									
即：委員会付託を省略し本会議で採決 総：総務企画委員会 建：建設環境委員会 予：予算特別委員会		自	共	公	民	緑	お	会	情	改	ネ	明	議決結果											
吹	湯	河	五	遠	水	た	板	森	渡	小	紀	宮		村		鈴	岸	片	坂	白	齋	渡	篠	田
平成29年度小金井市一般会計補正予算（第5回）		予	○	○	○	議	○	×	×	×	×	○		○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
↳ 平成29年度小金井市一般会計補正予算（第5回）に対する組替え動議（議員提案）		即	×	○	○	議	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	△	×	×	否決
平成29年度小金井市国民健康保険特別会計補正予算（第3回）		予	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成29年度小金井市下水道事業特別会計補正予算（第1回）		予	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
小金井市都市計画税条例の一部を改正する条例		総	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
小金井市生産緑地地区に定めることができる区域の規模に関する条例		建	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
小金井市自転車等の駐車秩序に関する条例の一部を改正する条例		建	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
地上権設定契約の合意解除に係る和解について		総	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	△	×	○	×	可決
↳ 地上権設定契約の合意解除に係る和解について総務企画委員会への再付託を求める動議（議員提案）		即	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	×	否決

請願・陳情の審議結果		【会派略称】													議決結果										
		公：小金井市議会公明党			自：自由民主党・信頼の小金井			共：日本共産党小金井市議団			緑：緑・市民自治こがねい			情：情報公開こがねい											
		お：小金井をおもしろくする会			民：小金井市議会民進党			会：こがねい市民会議			明：小金井の明日をつくる会			改：改革連合			ネ：生活者ネットワーク								
付託先略称		○：賛成 ×：反対 △：退席 議：議長（原則、採決には加わらず）													議決結果										
総：総務企画委員会 厚：厚生文教委員会		自	共	公	民	緑	お	会	情	改	ネ	明	議決結果												
吹	湯	河	五	遠	水	た	板	森	渡	小	紀	宮		村		鈴	岸	片	坂	白	齋	渡	篠	田	沖
安全性の向上のため、学校給食の調理場にスポットエアコンなどの冷房機器の設置を求める陳情書		厚	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
公立保育園の委託についての市民向け説明会の開催を求める陳情書		厚	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	
「もくせい教室」の環境改善を求める陳情書		厚	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	
諸賢のお知恵を拝借するための陳情書		総	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨採択	
J R高架下にバリアフリーのスポーツ施設を建設していただくための陳情書		厚	×	×	×	議	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	△	×	×	不採択	
北朝鮮のミサイルに備えた避難訓練等の実施を求める陳情書		総	○	○	○	議	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	不採択	
福祉会館跡地の地上権価格の把握に向けて複数社による適正な不動産鑑定を実施と結果を速やかに公表すること、市議会は専門家や不動産業者の話を聞くなどチェック機能を果たすことを求める陳情書		総	×	×	×	議	×	△	△	△	△	×	×	×	×	×	○	○	×	△	○	×	×	△	不採択
福祉会館跡地の地上権に関して、市(市民)にとって最も有利な処理をすることを求める陳情書		総	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	△	○	×	○	△	不採択
夫婦別姓の実現を求める意見書提出に関する陳情書		総	×	×	×	議	×	○	○	○	×	×	×	△	△	△	○	×	×	△	×	○	×	不採択	
元号利用の廃止を求めることに関する陳情書		総	×	×	×	議	×	○	○	○	×	×	×	△	△	△	○	×	×	×	×	×	×	不採択	
公立図書館における成人図書等の別コーナー設置を求めることに関する陳情書		厚	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択	
福祉会館跡地の地上権価格について、市議会として不動産鑑定を発注すること等を求める陳情書		総	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	不採択	

● 委員会の視察先とテーマ ●

行政改革推進調査特別委員会

1月23日～24日

- ▽岩手県北上市（きたかみPing!Pong!Pang!運動について、政策評価・事務事業評価について）
- ▽福島県郡山市（業務カイゼンへの取組「郡山市STANDARD」について）

※ 過去の行政視察報告書は、議会図書室（本庁舎4階）または情報公開コーナー（第二庁舎6階）で閲覧できます。

※ 今年度から行政視察報告書を市議会ホームページで公開しています。

北朝鮮はICBM級の弾道ミサイルと思われるものを発射し、日本の排他的経済水域に着弾した。日本国土に着弾する可能性は低い、確率はゼロではない。国民の命を守ることは国の最優先課題であり、有事に対する備えは、自治体としても最大の使命である。Jアラート発令時から数分どのような行動をすべきかを市民に周知し、訓練を重ねることは命を守る上で有効な策である。水源汚染等のテロ活動に備え、飲料水の備蓄を市民へ啓蒙することも必要である。

齋藤康夫（市民会議）

北朝鮮のミサイルに備えた避難訓練等の実施を求める陳情書

会議録が早くご覧になれるよう、未定稿（校正中）を公開しています。

<http://asp.db-search.com/koganei-c/>



一般質問 (4面~7面)

12月5日、6日、7日、8日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。

会派の略称

(自民党・信頼)	自由民主党・信頼の小金井
(日本共産党)	日本共産党小金井市議団
(公明党)	小金井市議会公明党
(市議会民進党)	小金井市議会民進党
(緑・市民自治)	緑・市民自治こがねい
(こがねい)	小金井をおもしろくする会
(市民会議)	こがねい市民会議
(情報公開)	情報公開こがねい
(改革連合)	改革連合
(生活者ネット)	生活者ネットワーク
(こがねい)	小金井の明日をつくる会

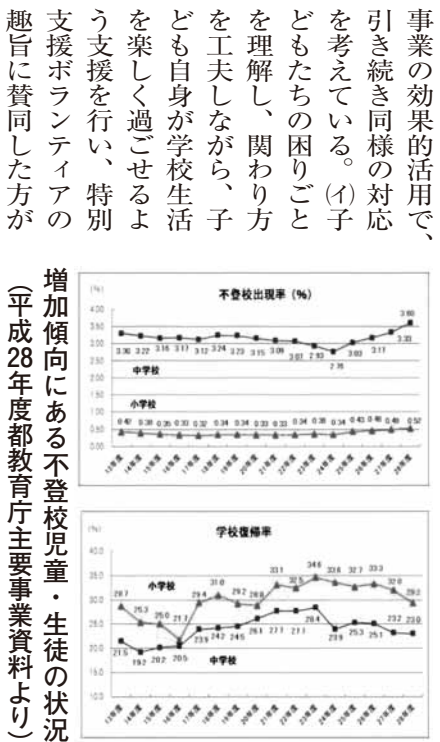
不登校児童・生徒支援と学習支援の取組は



鈴木成夫 (市議会民進党)

(ア)不登校児童・生徒支援モデル事業終了後の支援の方向性、今後の見通しと影響について。
(イ)学習支援ボランティア制度の現状と課題は。

学校教育部長 (ア)本事業の大きな柱である医師やスクールカウンセラーの派遣、養護教諭事務補助員や訪問支援員の活動は、これまでの取組の手法をいかしていきたい。訪問支援員は、東京都教育相談センターの学生アドバイザースタッフの業務の効果的活用で、引き続き同様の対応を考えている。(イ)子どもたちの困りごとを理解し、関わり方を工夫しながら、子ども自身が学校生活を楽しく過ごせるよう支援を行い、特別支援ボランティアの趣旨に賛同した方が



命を救う災害・緊急時の障がい者の情報保障



紀由紀子 (公明党)

東日本大震災の障がい者死亡率は健常者の2倍であった。障がい者の命を救うため、災害・緊急時等の情報保障やコミュニケーション手段の配慮等の支援が必要である。(ア)障がい者との話し合いの場の設置。(イ)ヘルプマーク・ヘルプカードの活用には市民の理解が不可欠。学校への周知は。(ウ)聴覚障がい者のための東京消防庁緊急ネットワークの周知を。(エ)聴覚障がい者支援事業を始めた飯能市では、専用タブレットで遠隔手話、筆談、音声認識(言葉が文字化)が選択でき、窓口でのやり取りを円滑化している。更に、UDトークには多言語通訳機能もあり、外国人対応もできる。障害

者差別解消法により、皆で支え合い、つなげる社会を目指し、市役所に専用タブレットを配置しないか。(オ)市役所に手話マーク・筆談マークを設置し、普及しないか。
福祉保健部長 (ア)検討したい。(イ)進めている。(ウ)市ホームページに掲載する。(エ)必要だと認識。自立生活支援課窓口への配置を検討する。(オ)自立生活支援課窓口に筆談マークを設置する。
■その他、「アナフィラキシー対応ホットラインを、幼稚園・保育園に広げないか」について質問しました。

全日本ろうあ連盟は **手話マーク 筆談マーク** を策定しました。

コミュニケーション手段の配慮 (全日本ろうあ連盟のリーフレット)

都市計画道路整備の必要性を協議するには



白井 亨 (こがねい)

都施行路線の都市計画道路3・4・11号線について、都が事業化を前提とした意見交換会を実施したが、参加市民からは道路整備の是非について協議したいという意見が出ていた。(ア)市が言う「地元への配慮」とはどのようなことか。(イ)それは事業化を前提とした上での配慮ということか。(ウ)都市計画マスタープランには都へ整備推進を要望する記載があるが、この具体的な記載がある限り、市は態度を変えられないという認識でよいのか。(エ)これまで市内で現道がない場所に道路を通じた実績はあるか。(オ)公的に当該都市計画道路の整備の是非について協議できるように、本文の一部改定を含め、今すぐ都市計画マスタープランの改定着手の検討を。
都市整備部長 (ア)自然環境や景観に配慮した計画並びに地元理解だと考える。(イ)事業化前

市民意向調査を分析すると、道路整備の不満はあれど優先順位は低いと捉えられる(本人提出資料)

現状の道路整備に多少の不満はあれど、優先的に進めるほどの重要性はないと市民のほとんどが考えているともいえる

誰もが安心して暮らせるまちづくり



沖浦あつし (こがねい)

高齢者、障がい者、子育て中の方も含め、皆が出歩きやすくなるまちづくり、歩行環境整備が必要となる時代が来ている。その施策の一つがベンチの設置と考える。(ア)公園のベンチの設置基準は。(イ)歩道ベンチの設置基準及び設置方針は。(ウ)今後の展開は。(エ)独自の取組で、「ど

うぞベンチ」を置く商店会があるが、市内統一のステッカーを貼るなど、市で取り組まないから、遊具を優先的に設置。ベンチを設置する際は、公園のコンセプトから総合的に判断。
都市整備部長 (イ)歩道幅員3m以上であれば設置可能。現在、公園や店先等の私有地を含め、

期日前投票所充実への具体的検討について



小林正樹 (公明党)

10月22日執行の衆議院議員選挙では、投票日の天気予報が荒天であったこともあり、期日前投票者数は前回の約1.6倍。投票所が大変混雑し、中には期日前投票を辞退された方もいた。行政として早急な対策が求められる。(ア)本町暫定庁舎を期日前投票所としないか。(イ)イトーヨ

1カ堂では全国14店舗で期日前投票を実施している。駅近での投票所の具体的な交渉を開始しないか。(ウ)東小金井駅開設記念会館(マロンホール)での期日前投票を土曜日にも行わないか。
選挙管理委員会事務局長 (ア)市の施設であり、利用しやすい立地であると考えるが、出入口が1カ所であることなどを考

ると難しい。(イ)相手もあり、どう使えるかを含めて話を進めた。(ウ)他市の状況等を確認し、検討したい。
■その他、「自主防災会の充実について」は、情報連携と育成支援の取組の充実、資機材の見直し、町会・自治会への支援について、また、「子どもの人権を守る取組について」は、いじめ・虐待・体罰の実態を確認、ライン等のSNSを使った相談対応の実施、成人雑誌の市内商店での陳列等について質問しました。

一般質問とは

議員は議案を審議・議決する以外に、市政全般にわたり、市長や行政機関などに対し、質問することができます。

市が行う事務の状況や将来に対する方針などについての質問をし、報告や説明を求めることをいいます。



議会Q&A

- Q** 一般質問はいつ行われるの？
- A** 原則3月、6月、9月、12月の年4回の定例会で行います。
- Q** 質問時間はどのくらい？
- A** 1人1回おおむね1時間以内です。
- Q** 傍聴はできるの？
- A** どなたでも傍聴できますので、議会事務局で傍聴の手続きをしてください。

教育機関との連携強化で地域社会の発展を

村山ひでき(市議会民進党)

小金井市は大学等の教育施設が多い。近年になって東京学芸大学、東京農工大学、亜細亜大学、武蔵野大学、総合学院テクノスカレッジと連携協定を締結しており、積極的に交流し、協力し合うべき。(ア)双方の担当者が定期的に会う情報交換の場を設けないか。(イ)地域イベント等

へ学生が参加協力できるような工夫を。(ウ)防災面での協力関係の参加を。(オ)体育関連施設の利用は。(カ)市長と学生との意見交換会の開催を。(キ)未締結の教育施設にも連携の拡大を。

企画財政部長 (ア)具体的な事業の内容によって、各担当課が協力依頼をしている。(イ)これま



で科学の祭典や東小金井火花大会で学生ボランティアの実績があり、積極的に声をかけたい。(カ)市民参加推進会議で若者の市民参加を話し合ってきたので、若者の意見も聞いていきたい。(キ)相互の信頼関係を築き上げ、連携を進めてまいりたい。

総務部長 (ウ)ルーテル学院大学とは協定を締結。市内大学は避難場所指定をしている。

選挙管理委員会事務局長 (エ)今後、進めていきたい。

生涯学習部長 (オ)テクノスカレッジ等と市民開放の協議中。

近年にない取組である働き方改革を推進せよ

岸田正義(市議会民進党)

職員の仕事の持ち方を見直し、多様な任用形態の活用により適正化を図る働き方改革は近年にない取組であり、ワークライフバランスの実現、職員が能力を発揮できる環境整備が重要。(ア)今年度の取組は。(イ)新導入の時差出勤制度と時間外勤務時間の現状は。(ウ)職員の削減だけでは

なく、今後の政策課題に応じた重点配置を。(エ)未来を拓く小金井改革は道半ば。画期的な働き方改革を加速すべき。

企画財政部長 (ア)業務の洗い出しと役割の検証で、正規職員21名の非常勤化の取組をまとめた。(ウ)新庁舎建設、清掃関連施設再整備、学童保育等6部署9名を重点配置として増員し、重



要政策を推進する。さらに地域福祉課、介護福祉課、保育課の増員で時間外勤務を抑制し、約2千500万円の財政効果を見込む。

総務部長 (イ)時差出勤制度により時間外勤務を4か月で約250時間、全体でも前年同期より約7千321時間の削減。

市長 (エ)新たな行財政改革を推進できる人材作りが重要。全職員による本気の改革を進め、市民サービス向上に取り組みたい。

■その他、学童保育入所要件見直し、歯科健診の充実について質問しました。

市の貴重な資産図書館の有効活用を

宮下 誠(公明党)

図書館本館だけでも27万冊以上の蔵書が読者を待っている。図書館という現有資産をもっと有効活用できるはず。(ア)図書館を使った「調べる学習」で、地域コンクールを開催しては。(イ)郷土資料について収集・研究し、小学校高学年ぐらいから理解できる平易な文章で、イラストや

写真も入れて、調査レポートを発行しては。(ウ)隣接市に開館した都立多摩図書館では、児童・生徒の読書活動推進のため、都内の学校との連携事業を行っている。活用しては。

指導室長 (ア)図書館を使った「調べる学習」コンクールは、全国で100以上の区市町村で開催されている。教育委員会として



も、図書館の利用促進と調べる学習の普及は重要と考える。図書館と連携を図りながら、校長会にも呼びかけ研究していく。(ウ)同図書館に確認したところ、学習内容やテーマ等を伝えると、関連図書を集め、貸出しを行うとのこと。今後、各学校への周知を行いつつ、都立図書館の有効活用について研究していきたい。

生涯学習部長 (イ)常々考えてきたこと。文化財担当や歴史・市史編さん担当とも連携して、前向きに研究・検討したい。

車いす使用の子どもに安心安全な学校生活を

坂井えつ子(緑・市民自治)

(ア)車いす使用の子どもの学校での過ごし方は。保護者の付添いは必要か。(イ)手すりや誰でもトイレを全フロアに設置しないか。(ウ)各校での対応標準化のため、ガイドライン作成を。(エ)避難訓練はどうしているのか。(オ)災害時など、緊急時の体制は整っているか。(カ)介助員配置の現

状は。(キ)1対1の介助員の配置を。(ク)保護者から預かった手紙について、意見を聞きたい。

統括指導室長 (ア)車いすや歩行器を使って移動。保護者や教員、支援員やボランティアが付き添っている。プール指導は保護者や支援員がつかないと入れない。誰でもトイレがない場所では介助が必要。(イ)予算が不足



しているのが難しい。(ウ)前向きに検討していきたい。(エ)教職員で役割分担をし、計画的に実施している。(オ)現状の体制の中でできる限りの配慮をしている。(カ)1対1での配置はゼロ。

市長 (キ)子どもの命を守ることは何より優先される。教育委員会と連携し、取り組んでいく。障がい児の支援について、これからも引き続き努力したい。

■その他、女性センター整備の検討状況、障害者差別解消条例制定の遅延理由について質問しました。

公民館を守れ 公立保育園を守れ

たゆ久貴(日本共産党)

①公民館は現在1館が閉鎖されたままであり、利用できなくなった市民が困っている。公民館本館を早急に設置すべき。(イ)市は公民館の有料化を計画しているが、お金がなければ利用できなくなってしまうため、有料化するべきではない。公民館は社会教育の場であり、有料化

は教育を受ける権利を保障している憲法に違反する。

生涯学習部長 (ア)現状の施設を維持する。他の分館や施設の利用をお願いしたい。(イ)意見として承るが、公平性や財政負担を考えると、有料化の検討は必要。憲法は守っていく。

②市は公立保育園の民営化を進めているが、民営化は行



べきではない。公立保育園の役割を守っていくべき。(イ)民営化によって市は責任を持たなくなる。そもそも福祉の増進が任務である自治体として、大問題で無責任ではないか。

子ども家庭部長 (ア)民営化は進めていく。民営化によって役割が失われるとは考えていない。(イ)民営化後も市が関わっていく。■その他、市は財政が大変と言

都道府県単位化での国保負担増ストップを

板倉真也(日本共産党)

11月30日の国民健康保険運営協議会に来年年度の諮問案が示された。(ア)所得割額と均等割額の2方式にしたのはなぜか。(イ)その他一般会計繰入金をどれくらい見込んでいるのか。(ウ)影響額千34万5千円を防ぐために、その分も、その他一般会計繰入金で対応しなかったのはなぜか。

(エ)東京都に、国保税の負担軽減のための独自の財政支出を行うよう働きかけるべき。(オ)国に対して、さらなる国庫負担の引上げを求めるとともに、激変緩和のための特例基金や暫定措置を継続するよう働きかけるべき。

市民部長 (ア)将来的な保険料率の標準化を視野に入れ、制度改革初年度に2方式へ変更した



いと考えた。(イ)約7億5千万円を見込んでいる。(ウ)新たな制度の下で削減、解消すべき一般会計の法定外繰入金が増えるという限り、基本的に保険税を現行より引き下げることはできないと考えており、影響額についてはマイナズにならないことを基本としている。(エ)医療保険制度の安定的な運営の維持を目的とする都独自の財政支援も含め、必要に応じて要望を検討していく。(オ)制度改革後の状況を注視しながら、必要に応じて働きかけに努めていきたい。

新庁舎及び新福祉社会館の 一体整備に係る課題



河野律子 (自民党・信頼)

①新庁舎建設に際した、清掃関連施設の暫定移設費用を含めた財源計画の策定を。
環境部長 暫定移設の経費の影響も含め、検討を進める。
企画財政部長 経費比較を検討し、財源見通しを立てたい。
 ②新福祉社会館の機能面について、(ア)福祉総合相談窓口の運営

イプロモーション政策実施を。
企画財政部長 方向性をもった魅力・情報発信に努めたい。
 ④行革プランの策定に伴い、職員定数条例の改定と非常勤嘱託職員の定員管理の実施を。
企画財政部長 条例改定の具体的作業に入りたい。定員管理の把握の検討をしたい。
 ⑤商業観光の視点及び市内回遊の促進のため「はげの森をめぐる旅」の更なる活性化策を。
市民部長 休憩場所の設置等、来街者の快適性の向上のため、主催者側と検討を重ねたい。

方法を早急に検討すべき。(イ)健康長寿や地域参加のため、旧福祉社会館にあった悠友クラブ等、高齢者や障がいのある方の利用場所を確保すべき。
福祉保健部長 (ア)支援を的確につなぐため、検討していきたい。(イ)各団体と丁寧協議し、意見も踏まえ、検討したい。
 ③住みたい街を目指し、シテ



新庁舎及び(仮称)新福祉社会館の一体整備を予定する蛇の目ミシン工場跡地

新福祉社会館に入る機能は 女性の活躍を更に



渡辺ふき子 (公明党)

①新福祉社会館建設基本計画では、旧福祉社会館の機能回復と言いつながりながら導入となった機能、前市長時代の計画にあったが入らなくなった機能もある。(ア)行き先の検討状況と今後の計画は、(イ)高齢者や障がい者団体等については優先利用を。(ウ)清掃関連施設の敷地内移転は不可避か。

なる飛躍を。(ア)女性総合相談の現状は。(イ)市の管理職全体の14・9%である女性管理職者の更なる登用を。(ウ)男女共同参画室のセンター化等の格上げを。
男女共同参画担当課長 (ア)平成28年度は105件の相談があり、今年度は相談日を19回増やした。今後、福祉総合相談窓口とも連携し、充実させたい。(ウ)センターの在り方を含め、検討する。
総務部長 (イ)市女性職員活躍推進プランの推進に努める。
 ■その他、浴恩館公園の整備を要望しました。

福祉保健部長 (ア)福祉共同作業所は現在の場所を望んでいる。りんくうの店は新福祉社会館で活動する方向。シルバー人材センターと悠友クラブは意向を踏まえ、検討。(イ)運用の中で検討する。
環境部長 (ウ)最初に二枚橋、次に中間処理場を整備し、平成36年度中の完了を目指す。
 ②女性が活躍する社会へ、更



質問の後に整備された、浴恩館公園の野外調理場

実効性ある障害者差別 解消条例の制定を



水上洋志 (日本共産党)

①浴恩館公園について、下村湖人の業績など歴史的な中身を発信すべき。(ア)空林荘入口の歌碑や文化財センターの障子、野外調理場のかまどなどの整備を求め、(イ)空林荘再建を検討すべき。(ウ)市民との協議の場を設け、水路復活など、今後の在り方について検討を。

定した条文を尊重して制定すべきで、市の責任による制定の遅れは重大である。原因は。(イ)虐待や乳幼児、災害時対応等について記述すべき。教育について具体的に記述すると現体制でさらに大変になるとのことだが、インクルーシブ教育や周知・啓発等、具体的に明記すべき。
福祉保健部長 (ア)条例内容の庁内調整に時間を要した。責任を重く受け止める。
統括指導主事 (イ)国や都の考えを踏まえ、特別支援教育を着実に推進する。

生涯学習部長 (ア)歌碑は文化財センターで解説するよう検討する。障子は優先順位を検討し、修繕に取り組み。野外調理場は対応する。(イ)文化財の観点から、再建は考慮していない。
環境部長 (ウ)今後の研究課題である。
 ②障害者差別解消条例について。(ア)地域自立支援協議会が策



下村湖人ゆかりの地 浴恩館公園

サイバーセキュリティに 関する協定を



遠藤百合子 (自民党・信頼)

①近年、サイバー攻撃による情報流出やインターネットバンキング不正送金案の手口の複雑・巧妙化など、サイバー空間脅威が深刻化している。小金井市役所・小金井警察署・小金井市商工会が相互に連携し、協定を結ばないか。
市民部長 サイバーセキュリティ

つくし会と福祉避難所として協定を締結。今後も民間団体との取組を進めていきたい。
 ③ハクビシンの害対策を。
農業委員会事務局長 平成26年8月に小金井市農業振興連合会で、捕獲用の箱わなを10基購入し、農家への貸出しを開始している。
 ④道徳教育の教科化に伴ういじめ対策は。
学校教育部長 小金井市でもいじめの認知件数は増加傾向にある。早期解決への理解が浸透していると考えられる。

ティに関する協定書を締結すべく、協定書案文の文言調整や調印式の段取りなど、準備を進めている。協定書の調印式は、平成30年1月の小金井市商工会新年賀詞交歓会の場で行う予定。
 ②災害時の避難場所の新たな施設との契約を。
総務部長 要配慮者受入れとして、12月1日に医療法人社団

庁舎移転後のまちづくり 雨水を活用しよう



田頭祐子 (生活者ネット)

(ア)公民館本館は、早期に本町分館からの移転が必要だが、行方が見えない。4年後に本庁舎も第二庁舎も移転すれば、人の流れは大きく変わる。にぎわいと資産活用の観点で、本町暫定庁舎用地を売却または等価交換などを行い、公民館本館を配置しないか。(イ)新福祉社会館の竣工

時には、保健センター、子ども家庭支援センター、ファミリースポーツセンターの機能が移転されるが、子育てひろばは大きくすべきではない。跡地活用の検討は市民参加で行わないか。
企画財政部長 (ア)歳入確保策としての公有地売却も視野に入れるが、資産活用は適切な検討が必要。(イ)保健センターや大学

市長二年目の折り返し点 でのリーダーシップ



斎藤康夫 (市民会議)

財政健全化は市の最優先課題であることは現在でも変わらないことを前提に質問する。(ア)西岡市長は選挙公報で市民力結集と掲げたが、「市民力」「結集」とは何か。そして、それをどのように活用するのか。また、市長として政策の決断はどのようなか。(イ)都市計画道路

3・4・11号線など重要な政策を決定する際に、1、市民の意向調査、2、パブリックコメント、3、市民投票と、条例に明記された3つの方法がある。都府民の意見は計画実施そのものに反対しているという結果が出た。市長としてリーダーシップを発揮するのではなく、市民の声を聴くと言うなら、それを覆すためには他の2つの方法を実施するしか方法はない。
市長 (ア)市民の声を広く聴いて集約し、政策決定することが大切である。小金井市には各分野で活躍されている市民がいる。その力を活用するために、審議会、パブリックコメント、ワークショップ、市民懇談会などを行っている。(イ)現段階では市民投票という状況に至っていない。都府民の意見交換会を重ね、お互いに様々な声を聞き合う場が必要である。

蛇の目跡地内の 大深度井戸水を活用せよ

篠原ひろし(改革連合)

蛇の目ミシン工場跡地には、地下250メートルの大深度井戸が残されている。現在災害時用として維持されているが、水質、水量共に通常時でも使用できる良好な状態とのことである。この資源を活用し、「黄金井水」ブランドのボトル詰めを製作、頒布、販売し、「水の小金井市」



を宣伝し、併せて我が市の雨水浸透枡普及施策への理解と成果を内外に発信して、地下水涵養の大切さを啓蒙しよう。日本人は水に対する評価・価値観を持っているので、小金井市の水をアピールして、我が市に対する価値観を高めるような検討を始めていただきたい。

環境部長 市民・事業者の理解と協力により、小金井市の雨水浸透枡の設置率は世界一と言われている。提案については、先進の昭島市「あきしまの水」ブランド事業を参考に研究したい。

市長 ご指摘のとおり、本市の地下水に関する施策は誇れる取組。取水して活用し、関心を高めることには同感である。



各自自治体が製作・販売しているペットボトルウォーター

子どもの多様な学びの 権利の保障を

片山 薫(緑・市民自治)

①(ア)不登校児童・生徒が通うもくせい教室は、小中学生とも同じ教室だが、別にすべきでは。トイレの修繕と洋式化を。指導員に若い世代を。移転の検討は。支援体制を整えるべき。(ウ)子どもの権利条約制定10周年に向けた市の取組は。



指導室長 (ア)本来は小中学生は別々の部屋が良い。トイレの修繕は依頼中。指導員は適切な者を配置する。移転については関係各課と連携を図る。(イ)日本語指導の充実を図るため、関係機関を研究する。

子ども家庭部長 (ウ)平成31年度の秋を目途に、子どもたちの意見を聞いて、子どもの権利条約

例制定10周年の冠行事の実施を検討中。

②(ア)生活保護世帯の大学・専門学校への進学相談に対する対応や支援は。(イ)生活保護の窓口カウンターに仕切りの設置を。

福祉保健部長

(ア)制度の案内をし、希望が叶うよう支援している。高校生のアルバイト収入認定除外も説明。(イ)設置した。



もくせい教室の看板

■その他、社会教育施設は全ての人に開かれた、誰でも参加できる場であると考えたことから、新福祉会館計画の見直しについて質問しました。

福祉会館跡地の地上権は 適切な時価で処分を

渡辺大三(情報公開)

①地上権は、底地所有者の意向と無関係に第三者に売却も可能な「市民の財産」であり、市民に理解される「適切な時価」で処理する必要があるのではないかと。また、不動産業者や大手デベロッパーに市が地上権を売る場合、買っていただけかどうかが、どのぐらいの価格で買っていた



だけか、1者にも確認はしたのか。(イ)今からでも、5者から10者に打診して、市民(市)にとって有利な価格で財産処理を決めるとい慎重な対応をとるべきではないか。

総務部長 (ア)今回、地上権合意解除の和解という提案をするが、総合的に見て、和解という選択をしている。(イ)2者鑑定を

している。一応価格については検証している。

②大きな樹木は、非常に大きな価値がある。蛇の目ミシン工場跡地(庁舎建設予定地)の既存樹木を保全すべく、基本設計発注の段階までに、どの樹木を残すのか、検討を。

総務部長 早めに対応を考えなければならぬとの問題意識は持っており、検討を進めたい。その他、リサイクル事業所は廃止せず、中央線高架下スペースの活用も含めて、存続させるよう提案しました。



市が地上権を持つ福祉会館跡地

緑小学校トイレの改善 債権管理について

湯沢綾子(自民党・信頼)

①緑小学校の児童から、てんとう虫が密集する等トイレが汚いのを改善して欲しいと相談を受けた。この要望を伝えたところ、担当部署や校長先生が一緒に真摯に考えてくれたと伺っており、感謝申し上げます。抜本的な解決には改修が難しく、すぐには難しいと思うが、どの



ように対応していただけるか。

学校教育部長 窓枠をテープで覆うことも検討したが難しい。先生に伝えてくれれば清掃等で適切に対応する。子どもたちの声を大切に、学校の快適な環境作りを心掛けたい。

②市は税以外に主要なもので1億4千万円を超える未収債権を有する。その管理は各担当部

小金井市の施設について 市の防災について

吹春やすたか(自民党・信頼)

①小金井市の管理している施設について。(ア)市ホームページ上の市役所庁舎の案内が、利用者にとって非常に不便である。表現を変えることによって、使いやすく、アクセスしやすくなるのでは。(イ)庁舎内の、市民の方角利用される頻度が高い所に点字ブロックの導入を検討しな



いか。(ウ)新庁舎竣工後、現状でもアクセス状況の悪い貫井北町地域について、どのように考えているか。

総務部長 (ア)どうすれば分かりやすい案内ができるか研究・検討したい。(イ)費用対効果を含め、どのような形が検討できるか、課題と捉える。

都市整備部長 (ウ)民間路線バスやココバス等、全体的な見直しを実施する。貫井北町地域についても検討課題として認識。

都市計画道路について 市長は明確な対応を

森戸洋子(日本共産党)

①市民の命綱である母子・父子自立支援員を、正規職員1名から非常勤職員2名に変更しようとしている。正規職員1名体制を2名に拡充し、相談者に寄り添える体制の更なる充実を。子ども家庭部長 正規職員でなくても、相談員の増員により、ひとり親家庭や女性の自立の推



進が図られる。

市長 ご心配のないように対応していきたい。

②(ア)都市計画道路の意見交換会について、事業化を前提とするのではなく、市民からの意見を聞く場にするよう都に要請しないか。また、都市計画マスタープランはアンケート調査を実施し、前倒しで見直さないか。

(イ)都立武蔵野公園の整備計画は、都市計画道路の整備が前提。自然を壊す計画の見直しを都に求めるべきではないか。(ウ)緑と自然を残すために環境保全推進都市宣言を行わないか。

都市整備部長 (ア)市民や議員の意見は都に伝えたい。マスタープランの改定は上位計画のスケジュールに沿うため難しい。環境部長 (イ)生態系への配慮を行っているだけでなく、意見を述べている。都の事業を見守りた



小金井市はGPN会員として印刷のグリーン購入に取り組んでいます

この議会報は再生紙を使用しています。*ごみ減量と資源の再利用にご協力ください。この印刷物は、植物性インキ(石油系剤を利用するかわりに植物油を溶剤としたインキ)を使用しています。

意見書・決議の審議結果

※ 可決された意見書は、国等への関係機関に送付しました。

議題	審議結果	【会派略称】																							
		自：自由民主党・信頼の小金井 共：日本共産党小金井市議団 公：小金井市議会公明党 民：小金井市議会民進党 緑：緑・市民自治こがねい お：小金井をおもしろくする会 会：こがねい市民会議 情：情報公開こがねい 改：改革連合 ネ：生活者ネットワーク 明：小金井の明日をつくる会																							
		○：賛成 ×：反対 △：退席 議：議長（原則、採決には加わらず）																							
		自	共	公	民	緑	お	会	情	改	ネ	明													
		吹	湯	河	五	遠	水	た	板	森	渡	小	紀	宮	村	鈴	岸	片	坂	白	齋	渡	篠	田	沖
		春	沢	野	十	藤	上	ゆ	倉	戸	辺	林	由	下	山	木	田	山	井	藤	藤	原	頭	浦	
		やす	綾	律	嵐	百	洋	久	真	洋	ふ	正	紀	誠	ひ	成	正	え	井	康	大	ひろ	祐	あ	
		た	子	子	子	子	志	貴	也	子	子	樹	子	子	で	夫	義	子	亨	夫	三	し	子	つ	
主要農作物種子法廃止に際し、日本の種子保全の施策を求める意見書	種子法の廃止で、主要農作物種子の安定的な生産供給の法的根拠とそのため財源が失われる。政府に対し、日本の主要農作物の種子を公共の財産として保全するための新たな法整備とそれに基づく積極的な施策を求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マイクロプラスチック(MP)による深刻化する海洋汚染と生態系への影響を食い止めるため、「プラスチック使用量削減のための長期戦略」を求める意見書	政府へ「3R」(発生抑制、再利用、再生利用)を推進し、レジ袋や使い捨てプラスチックを使った製品の廃絶を目指す「プラスチック使用量削減のための長期戦略」の策定・実行と、マイクロビーズの法規制を求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
待機児童対策と保育士の待遇改善に向け政策的投資を優先することを求める意見書	いまだ都市部を中心に受け皿が不足し、保育士確保も困難な状況が続いている。優先すべきは待機児童対策と保育士の待遇改善である。教育・保育の無償化より、保育の量と質の改善を最優先に取り組みよう強く要望する。	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
生活保護の給付削減を行わないことを求める意見書	生活保護について、経済・財政再生計画改革工程表で生活保護適正化のために制度全般の見直しが強調された。生活保護の切下げは憲法第25条に違反するとの訴訟が相次ぐなど、更なる給付削減を行うべきではない。	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
森友学園問題の疑惑解明を徹底的に行うことを求める意見書	森友学園問題で、会計検査院が値引きの根拠となったごみの量が「十分な根拠が確認できない」との報告書を公表した。疑惑は深まる一方であり、安倍昭恵氏を始め関係者の証人喚問を認め、疑惑解明を行うことを求める。	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○
医療制度における新たな国民負担増を行わないことを求める意見書	国は社会保障費の削減を進めており、医療分野でも自己負担増が進められている。これ以上の自己負担が増えれば、国民の生活と健康が脅かされる。経済状況にかかわらず、誰でも病院にかかれることが重要である。	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
在宅介護生活援助サービス抑制方針の中止を求める意見書	厚生労働省は、来年度の介護報酬改定に向けた社会保障審議会に、生活援助サービスに回数制限を持ち込む方針を示した。しかし、これでは在宅での生活が立ち行かなくなることから、この方針の中止を求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
「原発事故子ども・被災者支援法」に基づく被災者支援策を行うことを求める意見書	原発事故子ども・被災者支援法に基づき、被害者の住まいと暮らしを保障し、現状把握と法制度の整備を急ぎ、高齢・障害・求職者雇用支援機構は、立ち退き裁判を取り下げ、話し合いでの解決に務めることを求める。	△	△	△	○	○	○	○	○	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
東京都受動喫煙防止条例に関する意見書	①東京都は条例制定に当たり、各市町村と十分に協議すること、②分煙補助事業、店頭表示等との整合性や各種業界また都民等の意見を踏まえ検討をすること、③国の動向を踏まえた上での検討を行うこと等を求める。	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
都市農業の振興策強化、特に生産緑地の賃借を可能とする法改正を求める意見書	年々農地が減少していく現状は本市にとって大きな損失であり、都市農業の更なる振興策強化が必要である。特に所有者が営農を続けられない場合にも農地を維持できるよう、生産緑地の賃借を可能とする法改正を求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
都市計画道路「小金井3・4・11号線」「小金井3・4・11号線外」の整備計画の見直しと意見交換会の在り方の改善を求める意見書	11月17日に東京都による意見交換会が開催され、参加者から道路整備の必要性について話し合いたいという要求が突き付けられた。事業化を前提とせず、都市整備局も交え話し合うことを強く求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ジェンダーに配慮した議会の在り方を求める決議	議員の子育てを社会的な問題とし、女性議員や若い人たちが政治に参加しやすくするため「ジェンダーに配慮した議会のための行動計画」を議会改革に反映し、全国市議会議長会等に標準会議規則の改定を求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福祉会館跡地の地上権の処分に関する在り方に、西岡市長に反省を求める決議	西岡市長は、福祉会館跡地の地上権の市場性(売却可能性や売却可能額)を全く調査せずに議案を提出した。公有財産処分の重要性に対する認識が欠落しており、慎重さを欠くものであった。よって、強く反省を求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	○
福祉総合相談の在り方を早急に示すことを求める決議	新福祉会館内に福祉総合相談窓口の設置が示されているが、相談の在り方についてほとんど検討が行われていない。福祉総合相談の在り方を直近の議会に示すこと、福祉総合相談窓口は庁内に設置すること等を求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	○	×	○

待機児童対策と保育士の待遇改善に向け政策的投資を優先することを求める意見書

反対討論 (要旨)

河野律子(自民党・信頼)
国は、待機児童の解消及び保育士の待遇改善を最優先課題として実施し、平成32年度末までに32万人分の保育の整備を進めている。一方、幼児教育・保育の無償化は子育て世代の負担軽減、少子化対策としても期待され、社会保障の全世代型への変革の一助とされている。各政策効果を鑑みても、いずれも重要不可欠であり、優先度の優劣は付けがたい。よって、保育の量・質に課題が残る、格差が広がるなどの評価は早計であることから、本意見書に反対する。

反対討論 (要旨)

紀由紀子(公明党)
反対の理由は、幼児教育の無償化を否定している点である。公明党の主張である幼児教育の無償化は、2020年に向けて、政府の新経済政策として閣議決定したものである。この「新しい経済政策パッケージ」では、0〜2歳児は当面、住民税非課税世帯を対象に、3〜5歳児は全ての幼稚園、保育所、認定子ども園が無償化となる。同時に、待機児解消も、2013年から59万3千人分を拡大し、保育士の待遇改善へ、政策的投資を優先して進めているため、反対する。

生活保護の給付削減を行わないことを求める意見書

賛成討論 (要旨)

水上洋志(日本共産党)
厚生労働省が打ち出した、生活保護費の大幅な減額案は、夫婦と子ども2人世帯で10%以上カットされ、今でも切迫している生活は、とても立ち行かなくなってしまう。生活扶助の削減の影響は、就学援助、最低賃金など、一般の給付水準を決める物差しとなつて

おり、広がり深刻である。母子加算も平均2割カットの可能性が示され、子どもの貧困解消に逆行する。暮らしの土台を崩す生活扶助や母子加算のカットは撤回すべきである。

賛成討論 (要旨)

片山 薫(緑・市民自治)
生活保護基準は、就学援助、高校生の奨学金や住民税の非課税基準、最低賃金などと連動し、生活保護受給者だけの問題ではない。日本では、生活保護基準未満で暮らす世帯のうち、実際には2〜3割程度しか生活保護を利用していない。格差が拡大する現在の社会では、低所得世帯に合わせていけば、際限なく基準切下げ・生活保護費の削減が進む。子どもの貧困問題を更に悪化させ、人らしく生きることを否定する生活保護基準の引下げはするべきではない。

在宅介護生活援助サービス抑制方針の中止を求める意見書

賛成討論 (要旨)

板倉真也(日本共産党)
厚生労働省が来月10月に行おうとしている訪問介護の生活援助の利用回数制限に対しては、「実態を無視したもの」との怒りの声があがっている。しかし、厚生労働省は一律の基準を設け、利用回数抑制へと突き進もうとしている。介護保険は在宅介護が中心とされ、必要なサービスを利用者が選択できることを理念として発足した。生活援助サービスを自由に選択できなくなる仕組みは介護保険の理念に反し、到底認められない。よって、本意見書に賛成する。

広報協議会

次の日程で開催しました。会議の様子はYouTubeで配信しています。

- ▼平成29年12月22日(金)
- ▼平成30年1月16日(火)
- ▼平成30年2月7日(水)

次の定例会は平成30年2月21日(水)開会予定です。